

高遊幕末風坊遊自と句堂

天 苦志地 秀山人 古十

外 鵬 幸 柳 年 一 風 柳 坡 志 朗

位五矣之部

高々々々世界の境域知れしはウシ込古十
 四方々々水々々々けさささのまの百むレン耕自
 鵬利々々々風々々々か鳥々々々下ヤ作定
 鳥の門大啓う~~~~見ゆ~~~~
 象々の千~~~~さ~~~~る~~~~の鳥
 まつやや城うけささるる屋の 捨 赤サカ 苔 志
 名々々々ふらけハ形々々々~~~~
 初は物~~~~うけ~~~~あ~~~~る~~~~の鳥
 見ゆ~~~~る~~~~や~~~~る~~~~る~~~~の鳥~~~~
 々々の鳥物~~~~~~~~~~~~~~~~
 静々や小巻~~~~~~~~鳥さ~~~~の~~~~



明月や重なるも
うしの目さくらまつり
吟一海月の姿も満ち
戸洗る力を海に
志 白 鳥 風

再吟六甲之部

明月や一甲のくさくさ
名月やまはるる
おきやけのあけの空
名月やけのさけの空
名月やまはるる
トキ八連舟
忍レレ以
あゝ
一 秀 山 風

再吟八甲之部

名月やまはるる
名月のまはるる
エとエ抑 坡

明月や人の別れも
明月や人の別れも
企 船 車
末 糸 女

自古吟人只说秋

明月や
明月や
判 糸
真 仙

天保壬寅秋真行

特別
A5
665.1
9
早稲田大学図書館